

臼杵市 地域おこし協力隊

有機農業研修生 活動報告

4期生・5期生・6期生 (現役協力隊員・卒業生)

左から順に

高知県出身
明智 大輔

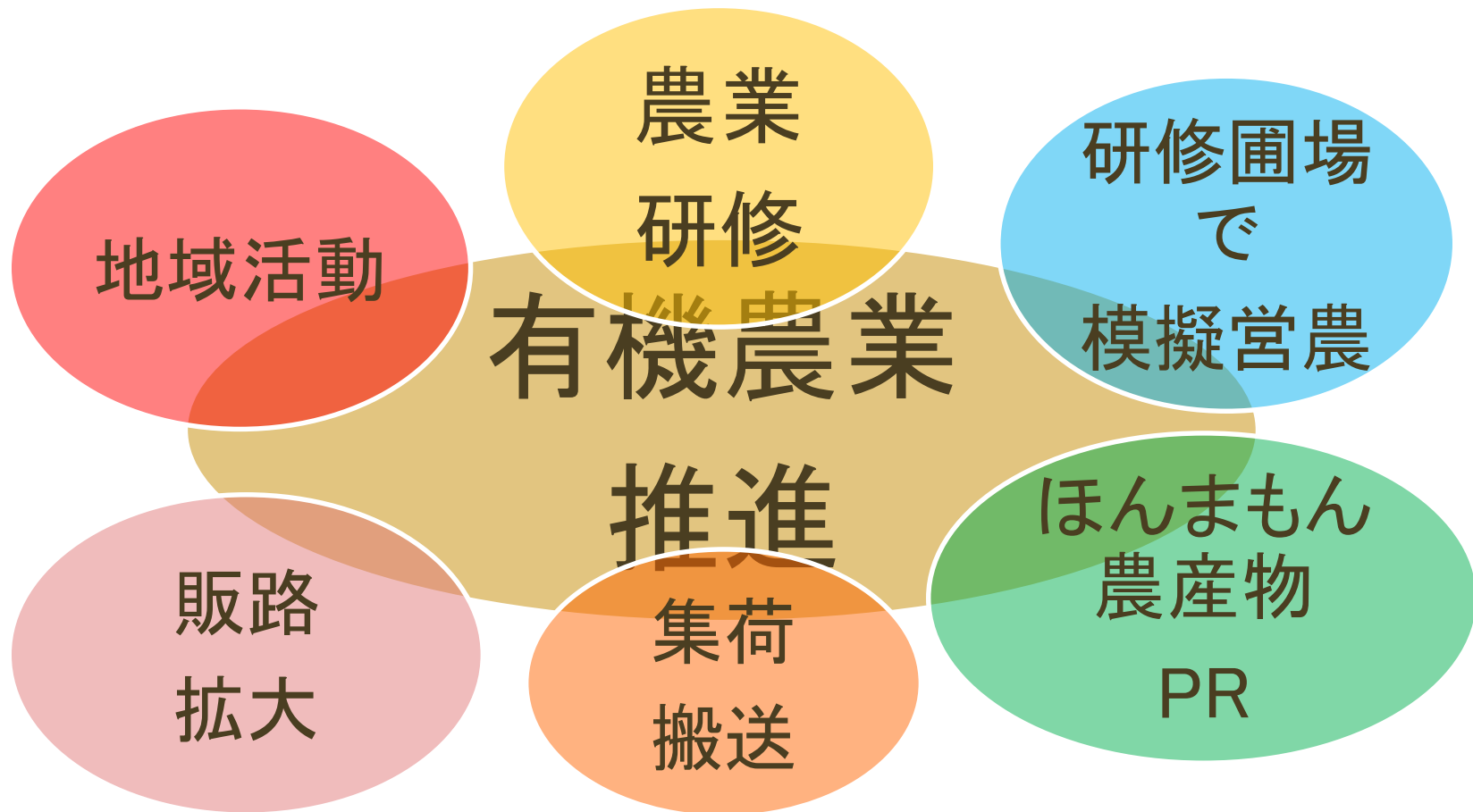
高知県出身
阿武 直志

神奈川県出身
三重野 勇太

東京都出身
飯沼 考太
10月卒業



私たちの任務



農業研修先・指導者



株式会社 未来の食卓
藤島 裕美 さん

臼杵市野津町で、有機農業を30年以上実践しており、臼杵市が推進する「ほんまもん認証制度」との関係性も強い「ほんまもんネットワーク」の会長も務められています。

協力隊1期生から指導を続けており、卒業後の定住・就農のサポートにも心強いサポートをしています。

有機農業研修について



- ・ 私達は、長年臼杵市野津町で「有機農業」を実践されている、藤島氏の指導の下、農業に従事しております。
- ・ 指導内容としては、1年目は藤島氏の農業を一緒に行うことで、様々な事を学ばせて頂き、2年目3年目からは、自分自身で考え、挑戦しながら足りない技術や知識の指導を受けます。
- ・ また「農業」は、生産することだけではなく、出荷準備、及び、調整から販売まで。手広く自分達で行う事が多く、その一つ一つにも大きな学びがありました。
- ・ 左の図はジャガイモの管理風景です。

少量多品目の畑の様子



藤島農園では、少量多品目で栽培を行っています。作物によって、管理内容が大きく変わってくるので、様々な管理を効率よく的確に行う必要があります。

様々な植物を時期を重ね、また時期をずらして栽培していくため、非常に手間が多いですが、年間を通じて安定した収入を得る、一つの方法を藤島氏は実践しています。

農業研修（収穫・パック詰め）



季節折々の野菜を生産しています。
年間60種類、それだけ多くの苦労がありますが
自分たちが種から育て、地域の皆様の食卓に並べて
頂ける喜びは、次への大きな励みとなりました。

集荷・搬送(大分県内)



・大分市 トキハ本店への出荷

毎週3回（火・木・土）
大分市トキハ本店地下2階にある
ほんまもん農産物コーナーに季節を彩る、臼杵市産のほんまもん野菜を出荷しています。

・展示ブースの変更



昨年度までの
一般的な販売台から、大きく変更しました。

ほんまもん農産物の広報活動



新型コロナウイルスの影響が強く、県内外への広報活動については、非常に難しい1年となりました。
その為、私達の営業マンである「ほんまもん農産物」の生産と販売に力を入れました。

ほんまもん農産物実証実験



ほんまもん農産物による、臼杵市給食への供給量を増やす為の実証実験をR3年度より始めました。まずは。ジャガイモ・玉ねぎ・人参を主要3品目と定め、生産から収穫・貯蔵までを私達・地域おこし協力隊が行いました。

ふるさと納税の返礼品



ほんまもん農産物の販促活動の一環として、研修先である藤島農園でのふるさと納税返礼品に使用する野菜の生産・収穫・出荷調整、及び、発送業務の研修を受けました。

コロナ禍でもあり、発送件数は例年に比べ、減少しましたが、非常に有用な販促活動の一つとして、精力的に参加しました。

近年話題となる、SDGsに根差した
臼杵独自の取り組みを伝え続ける。



自主活動① 開墾



10年近く、耕作放棄地であった水田を開墾しました。
畑に戻すには非常に大変な量力が必要です。
農地も限りある資源、野菜を作り、自然と共生する環境
を守り続けることは、一つの環境保護にもなるのではと
学びました。

自主活動② 近隣農家のお手伝い



臼杵市内にあるキュウイ農家にて

ほんまもん農産物として貴重な果物である「キュウイ」その畑での作業風景です。有機農業となると中々難しい果樹ですが、一つ一つ手作業で大事に育てられた「キュウイ」の収穫です。